

# REDD プラスへの取組動向

## Country Report ペルー共和国



平成 24 年度

独立行政法人 森林総合研究所  
REDD 研究開発センター



# REDD プラスへの取組動向

## Country Report

### ペルー共和国

#### -目次-

1. 森林の概況 .....	2
1.1 経年変化 .....	2
1.2 今後の森林計画等 .....	3
2. REDD プラスへの取組状況 .....	3
2.1 REDD プラス実施に向けての取組 <sup>4</sup> .....	3
2.2 REDD プラス実施体制 .....	4
2.3 FCPF 及び UN-REDD への参加 .....	6
2.4 活動スケジュール及び資金計画 .....	6
2.5 REDD プラスへの取組（年表） .....	7
3. 主だった REDD プラス関連事業の実施状況 .....	8
3.1 主だった REDD プラス関連事業の実施状況 .....	8
3.2 日本の支援状況 .....	10
4. UNFCCC への関与情報 .....	10
4.1 UNFCCC での取組状況 .....	10
4.2 NAMAS における REDD プラスの位置づけ .....	10
5. UNFCCC へ提出している森林情報 .....	10
6. その他の特徴的な地球温暖化対策 .....	11

## 1. 森林の概況

- ペルーの森林面積は約 68 百万 ha であり、その大部分はアマゾン川流域に分布する熱帯湿潤林、熱帯雨林（面積約 57 百万 ha）である。沿岸部には約 11 百万 ha の乾燥林、半乾燥林が生育しており、北部エクアドルとの国境付近にはマングローブ林が見られる<sup>1</sup>。
- ペルーの森林の約 90%が天然林であり、残りもほとんどが天然再生林である<sup>2</sup>。また、森林の約 90%は、管理計画を有する森林である<sup>2</sup>。
- 森林率（国土面積に占める森林の割合）は、1990 年国土の 54.8%（70,156 千 ha）、2010 年には 53.1%（67,992 千 ha）と推移しており、比較的緩やかに森林減少が進んでいる<sup>2</sup>。
- 気候変動枠組条約（UNFCCC）へ提出された第二次国別報告書<sup>3</sup>の内容によると、森林減少の要因（ドライバー）はアンデス地域からの移住者や小規模地主による放牧域の拡大及び焼畑地の拡大である。さらに、1940 年から 1970 年までの農業開拓地拡大のための森林地域への移住推奨政策、熱帯林における新たな道路建設、そして熱帯林における人口増加及び貧困が挙げられる。
- ペルーでは、政府により国家、州、地域ベースで森林生態系の回復と保全に向けた取組を推進・実践しているが、森林減少・劣化の原因となっている違法活動の抑制、そして投資による将来的な森林減少率の増加を考慮すると、これらの取組の目標を達成するためには非常に多くの技術的・資金的支援が必要となっている<sup>4</sup>。

### 1.1 経年変化

【表 1-1 ペルーの概況】

	1990 年	2000 年	2010 年
人口（中位推計） <sup>5</sup> （千人）	21,686	25,862	29,077
GDP <sup>5</sup> （百万米ドル）	26,294	53,290	26,294
1 人あたり GDP <sup>5</sup> （米ドル/人）	1,350	2,062	5,411
GDP 成長率 <sup>5</sup> （%）	-5	3	9
国土面積 <sup>2</sup> （千 ha）	128,522	128,522	128,522
森林面積 <sup>2</sup> （千 ha）	70,156	69,213	67,992
森林率	54.6	53.9	53.0
年平均森林減少面積 <sup>2</sup> （千 ha/年）	-	94	122
Primary Forest <sup>2</sup> （千 ha）	62,910	62,188	60,178
Other naturally regenerated forest <sup>2</sup> （千 ha）	-	-	6,821
Planted Forest <sup>2</sup> （千 ha）	263	715	993
Carbon stock in living forest biomass <sup>2</sup> （百万 t）	8,831	8,713	8,560

（注）森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

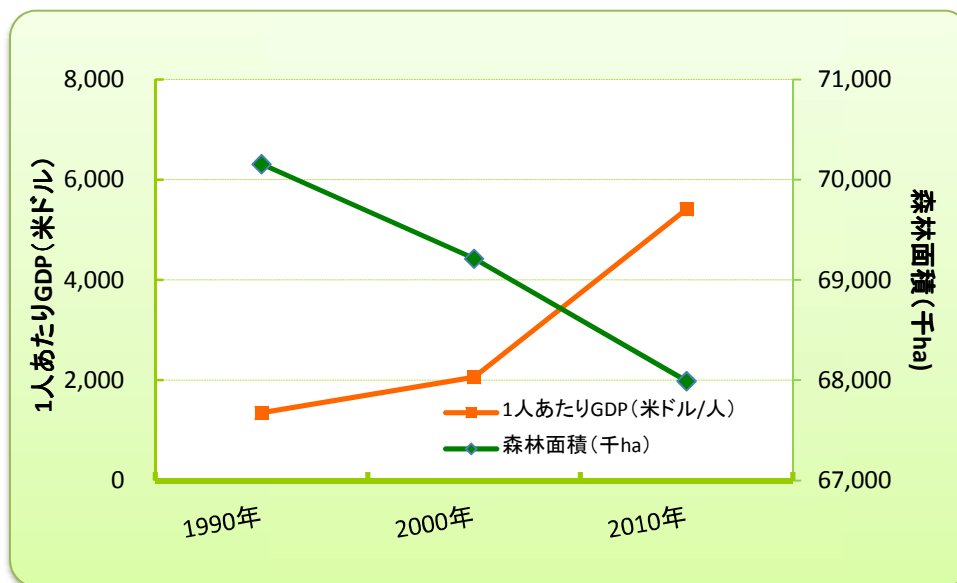
<sup>1</sup> 出典：ITTO（2011）Status of Tropical Forest Management 2011.

<sup>2</sup> 出典：FAO（2010）Global Forest Resources Assessment 2010. Global Tables.

<sup>3</sup> 出典：Peru（2010）Second National Communication：80.

<sup>4</sup> 出典：Peru（2011）Readiness Preparation Proposal（R-PP）for Country: Peru：10.

<sup>5</sup> 出典：UN data



【図 1-1 ペルーの 1 人あたり GDP と森林面積（1990～2010 年）】<sup>2</sup>

## 1.2 今後の森林計画等

- ▶ ペルー政府は、環境省（Ministerio del Ambiente：MINAM）のイニシアティブの下で、気候変動緩和に向けた国家森林保全プログラム（Programa Nacional de Conservación de Bosques para la Mitigación del Cambio Climático：PNCBMCC）を策定し、54 百万 ha の熱帯天然林の保全を掲げている<sup>6</sup>。
- ▶ 2009 年の UNFCCC 第 15 回締約国会議（COP15）において、2020 年に向けた地球温暖化対策の一環として、2021 年までに森林セクターからの GHG 排出量をゼロにするという目標を掲げた<sup>7</sup>。

## 2. REDD プラスへの取組状況

### 2.1 REDD プラス実施に向けての取組<sup>4</sup>

- ▶ REDD プラスに関する議論は、加速度的な経済成長を遂げ、増加する社会福祉と急速な貧困削減の過程にあるペルーに対して新たな課題となっている。そうした中、REDD プラスの実施過程においては、自然資源活用の持続可能性及び社会的平等を危険にさらすことなく、適切な REDD プラス実施を確保する必要がある、ペルーは REDD プラスに関する行動計画及び政策を準備することが求められている。
- ▶ REDD プラス実施に向けた国の制度的枠組みは、現在検討中である UNFCCC における REDD プラスの制度設計の過程を考慮しながら決められる見通しであるが、ペルーでは環境省（MINAM）の創設、新たな森林・野生動物法（Forestry and Wildlife Law）の提案（改訂）、

<sup>6</sup> 出典：Peru（2011）Readiness Preparation Proposal（R-PP）for Country: Peru：19.

<sup>7</sup> 出典：Peru（2011）Proposed Mitigation Actions: Peru：3.

前述した気候変動の緩和に向けた国家森林保全プログラム（PNCBMCC）の策定、そして REDD プラスに関する国と地域ベースの話し合いに向けたフォーラムの設立を行っており、こうした取組は策定段階にあるペルーにおける REDD プラスの制度的枠組みにおいて、各課題への対処を進める場になることが期待されている。

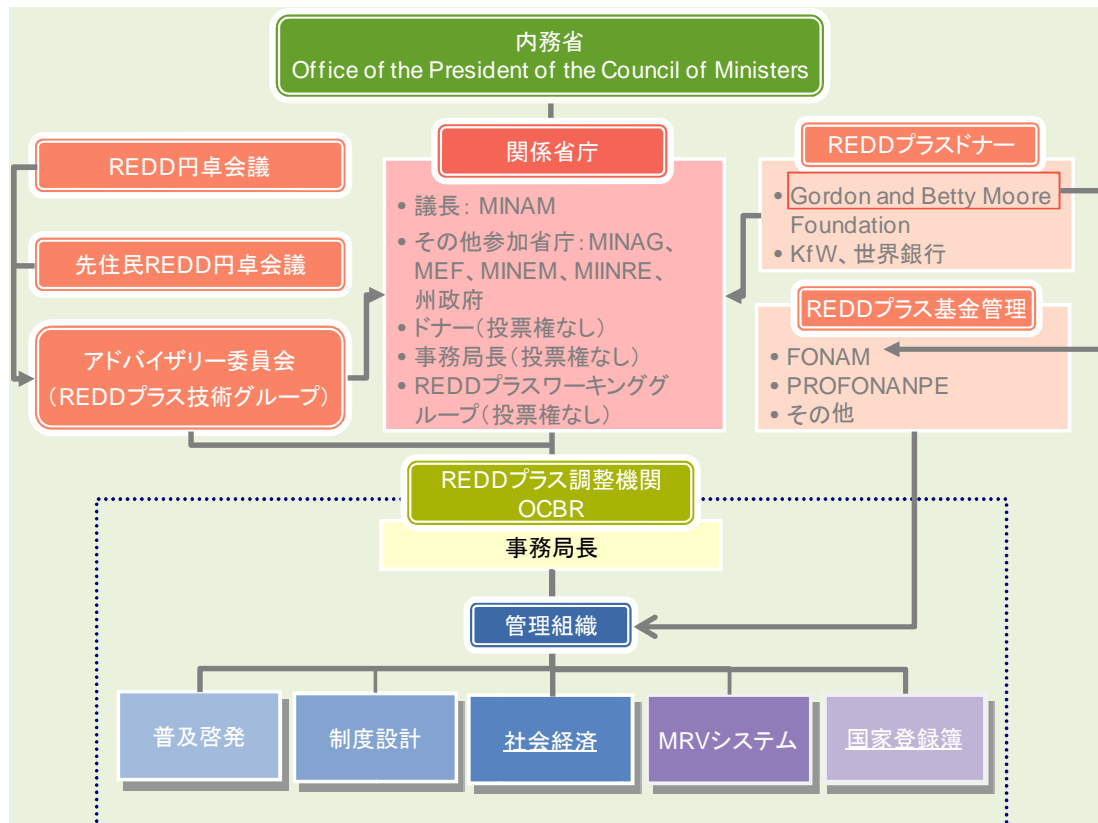
- 並行して、ペルーでは地方分権化に関する政策が実施されており、REDD プラス実施に関しても州レベルでの調整機関が必要となることから、新たに REDD プラス調整機関（Organo de Coordinación de Bosques y REDD+ : OCBR）が創設された。この機関は環境省（MINAM）の下に設置され、部門横断的な管理委員会（Intersectional Management Committee）を通じ、内務省（Office of the President of the Council of Ministers : PCM）に報告することが実施事項となっている。なお、REDD プラス調整機関（OCBR）は、ペルー REDD 円卓会議と継続的な協議も実施する REDD テクニカルグループからの技術的・戦略的指導を受けている。

## 2.2 REDD プラス実施体制<sup>8</sup>

- ペルーでの REDD プラスの実施主体としては、REDD プラス調整機関（OCBR）が設置されている。この実務部隊である REDD プラス調整機関（OCBR）に対して、環境省（MINAM）や農業省（Ministry of Agriculture : MINAG）等の関係省庁（Management Committee）が決定された政策を指示する構造となっている。現状では環境省（MINAM）が REDD プラスの担当省庁と位置づけられている<sup>9</sup>。
- ペルーでは上述した通り地方分権化の政策が実施されており、森林分野においても、地方政府が①森林資源に係る権利を認可する権限、②地域のゾーニングを策定する権利と義務、そして③自然保護区域の保全構想を提案する権利を有していることから、こうした森林管理システムを効果的に運用していくことも、REDD プラスの実施に大きく関係している。
- 関係省庁（Management Committee）には、世界銀行や各国ドナーからのアドバイス、そして先住民 REDD 円卓会議からの意見提出が行われる見込みとなっており、REDD プラスのステークホルダーが広く参加するシステム構築を進めている。

<sup>8</sup> 出典：Peru（2011）Readiness Preparation Proposal（R-PP）for Country: Peru：28.

<sup>9</sup> 出典：ITTO（2011）Status of Tropical Forest Management 2011：365.



(注) MEF : Ministry of Economy and Finance  
 MINEM : Ministry of Energy and Mines  
 MINRE : Ministry of Foreign Relations  
 KfW : Kreditanstalt für Wiederaufbau

【図 2-1 ペルーにおける REDD プラス実施体制】<sup>10</sup>

<sup>10</sup> 出典 : Peru (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Peru : 30 Figure 2a-1.

【表 2-1 ペルーの REDD プラス関係省庁及びその役割】<sup>11</sup>

組織名	REDD プラス実施の際に想定される役割
内務省 (PCM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政機関の国家・部門別政策の調整・監視を担当</li> <li>■ 地方分権化の管理を担当</li> </ul>
森林資源監視機関 (Supervisory Agency for Forest Resources : OSINFOR)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 森林・野生動物法、環境サービスの監視を担当</li> </ul>
環境省 (MINAM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 気候変動に関する代表機関</li> <li>■ 天然資源の戦略的開発に関する政策立案を担当</li> <li>■ REDD プラスメカニズムと、環境サービス支払いや補償計画の評価、設計、設立を実施</li> <li>■ REDD プラスに関する技術提案を実施</li> <li>■ 国家、準国の政府機関、公共機関、民間企業間の調整を担当</li> </ul>
農業省 (MMINAG)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 森林と野生生物資源の監督、管理、計画に関する国家政策の策定を担当</li> <li>■ 地方の森林・野生生物の政府機関の調整を担当</li> </ul>
経済・財政省 (Ministry of Economy and Finance : MEF)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 気候変動による経済への影響の算定と更新を実施</li> <li>■ 気候変動の適応活動の資金調達のための、金融と経済的手段の特定と推進を実施</li> <li>■ 自主的な国家緩和目標達成にむけた進捗状況の監視を実施</li> </ul>
外務省 (Ministry of Foreign Relations : MINRE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ UNFCCC に関する政策的代表</li> </ul>
エネルギー・鉱山省 (Ministry of Energy and Mines: MINEM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉱業・エネルギー活動の持続可能な開発における国家の政策策定と評価を実施</li> </ul>

### 2.3 FCPF 及び UN-REDD への参加<sup>12</sup>

- 2010 年には、米州開発銀行 (Banco Interamericano de Desarrollo : BID) が Delivery Partner となり、世界銀行森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility : FCPF) へ Readiness Plan Idea Note (R-PIN) を提出した。また、Readiness Preparation Proposal (R-PP) は 2011 年 3 月に承認された。
- 2011 年 1 月には世界銀行の森林投資プログラム (Forest Investment Program : FIP) からの拠出も開始された。

### 2.4 活動スケジュール及び資金計画<sup>13</sup>

- ペルーでは、Readiness (準備段階) に必要な金額を、約 3.2 百万米ドルと試算しており、FCPF、Gordon and Betty Moore Foundation (MOORE) 及びドイツ復興金融公庫 (Kreditanstalt für Wiederaufbau : KfW) が、主要なドナーとして認識されている。

<sup>11</sup> 出典 : Peru (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Peru : 18-24.

<sup>12</sup> 出典 : FCPF (2012) DRAFT REDD Readiness Progress Fact Sheet : 1-3.

<sup>13</sup> 出典 : Peru (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country : Peru : 14.

【表 2-2 ペルーの REDD プラス各段階における推定費用及び資金源】<sup>13</sup>

活動		拠出源(単位:千米ドル)			推定費用(単位:千米ドル)				
大項目	中項目	FCPF	MOORE	KfW	2011	2012	2013	2014	計
REDD プラス調整機関(OCBR)の計画と実施	OCBR をまとめる既存オプションに関する政策、法律、制度的な実行可能性の分析	14	-	-	14	-	-	-	14
	OCBR をまとめる適切な制度作成	14	-	-	14	-	-	-	14
	OCBR の運営		515	2,119	757	832	544	500	2,634
	<b>小計</b>	<b>28</b>	<b>515</b>	<b>2,119</b>	<b>786</b>	<b>832</b>	<b>544</b>	<b>500</b>	<b>2,662</b>
REDD プラスに関するワーキンググループの強化と、国家・地域ベースの機関や重要な関係者の効果的な参画の促進	REDD 関連の情報データベースの作成	14	-	-	14	-	-	-	-
	REDD プラスでの重要な関係者マップの更新	7	-	-	7	-	-	-	-
	国家ベースでの REDD プラスに関するワークショップや講習会の開催により、REDD プラスに関心をもつ関係者マップで確認された重要な関係者の参画	320	-	-	80	80	80	80	320
	<b>小計</b>	<b>341</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>101</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>341</b>
地域における REDD 円卓会議、先住民 REDD 円卓会議の強化、REDD プラスに関する能力強化	REDD プラスメカニズムの将来性に関する重要な関係者の参画のもと、地域ワークショップの開催 (Loreto 州、Ucayali 州、Cusco 州、San Martin 州、Amazonas 州)	128	-	-	128	-	-	-	128
	国家と地域政府、NGO の能力強化プログラム	7	-	-	7	-	-	-	7
		32	-	-	32	-	-	-	32
	<b>小計</b>	<b>167</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>167</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>167</b>
<b>計</b>			537	515	2,119	1,054	912	624	580

(注) 各年の金額の和と合計値が一致していない箇所があるが、R-PP に示された金額をそのまま記載。

## 2.5 REDD プラスへの取組 (年表)

【表 2-3 REDD プラスに関する主な取組】

REDD プラスに関する主だった取組	
2010 年	■ 世界銀行 FCPF への R-PP を提出
2011 年	■ 1 月、FIP からの拠出開始
	■ 3 月、FCPF へ提出した R-PP が承認される
2012 年以降	■ San Martin 州で CI が実施している REDD+事業が Verified Carbon Standard (VCS) に登録



### 3. 主だった REDD プラス関連事業の実施状況<sup>14</sup>

#### 3.1 主だった REDD プラス関連事業の実施状況

- 世界銀行の取組（FCPF 及び FIP）は、ペルーにおいては実質的に米州開発銀行（BID）を通じて実施されており、米州開発銀行（BID）が環境省（MINAM）と連携して国ベースの REDD プラス戦略を支援している状況となっている。
- 一方、Conservation International（CI）や World Wildlife Fund（WWF）等の国際 NGO が既に地方政府（州政府）と連携しながら実施しているパイロット事業の経験が、ペルーにおける REDD プラスを促進している側面が大きく、San Martin 州等における先行的な州政府の取組は、REDD プラスの戦略に多大な影響力を有している。つまり、ペルーでは地方分権政策とも関連し、州政府が主導しながら REDD プラスへの取組を進めているという特徴がある。



（注）図中の番号は、表 3-1 と対応。

【図 3-1 ペルーにおける主だった REDD プラス関連事業の実施地域及び実施団体】<sup>15</sup>

<sup>14</sup> 出典：Demonstration Activity を実施している NGO 等からのヒアリング結果に基づく。

<sup>15</sup> 出典：Peru MINAM（2011）REDD+（パンフレット）。

【表 3-1 ペルーにおける主だった REDD プラス関連事業実施及び資金支援の状況】

事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要	
パイロット事業実施				
①	NGO による支援	Amazon Conservation Association (ACCA)	Madre de Dios 州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト名「Conservation concession "Los Amigos"」<sup>16</sup>。</li> <li>■ 2001 年に取組開始。</li> <li>■ アマゾン流域における保全活動を目的に取組が進められている。</li> </ul>
②	NGO による支援	Centro de Conservación, Investigación y Manejo de Áreas Naturales (CIMA)	San Martin 州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト名「Cordillera Azul National Park (PNCAZ) REDD Project」<sup>17</sup>。</li> <li>■ 2008 年に取組開始。</li> <li>■ 山岳地域の約 1.3 百万 ha を対象にしており、森林減少を抑制すると共に、希少種の保全を進めている。</li> </ul>
③	NGO による支援	Conservation International Peru (CI-Peru)	San Martin 州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト名「Alto Mayo" Carbon Project」<sup>18</sup>。</li> <li>■ 2009 年に取組開始。</li> <li>■ 森林減少の抑制を進めることで、希少種の保全等に合わせて取り組んでいる。</li> <li>■ 対象地面積は 350 千 ha、排出削減量の見込みは 30 年間で約 4.2 百万 t-C/年。</li> </ul>
④	NGO による支援	Fundación Amazonia Viva	San Martin 州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト名「REDD+ Project Biocorredor Martin Sagrado」<sup>19</sup>。</li> <li>■ 2010 年に取組開始。</li> <li>■ 対象地面積は、約 314 千 ha。</li> <li>■ San Martin 州における希少種の保全、及び森林資源に依存しない生計手段の確立を目的に取組が進められている。</li> </ul>
⑤	NGO による支援	INKATERRA ASOCIACION	Madre de Dios 州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト名「REDD Project in the Ecotourist Concession "Inkaterra" and the conservation concessions of "Bioconservación Amaru Mayo" and "Inkaterra - Tambopata"」<sup>20</sup>。</li> <li>■ 対象地面積は、約 12 千 ha。</li> <li>■ アマゾン流域での持続可能な森林管理を進める、植生及び動物相の保全を目的としている。</li> </ul>
⑥	NGO による支援	Comunidad nativa de Yurilimas	San Martin 州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト名「REDD Project Yurilimas」<sup>21</sup>。</li> <li>■ 合計 55 世帯(約 31 千 ha)の参加により、持続可能な森林管理、アグロフォレストリー、非木材林産物に関する取組を進める予定で、現在プロジェクト計画が進められている。</li> </ul>

(注) 左列の番号は、図 3-1 と対応。

<sup>16</sup> 出典 : Amazon Conservation Association (2011) LOS Amigos OFFSET PROGRAM.

<sup>17</sup> 出典 : CIMA with technical assistance from The Field Museum and TerraCarbon (2012) Cordillera Azul National Park REDD Project. VCS Project Description.

<sup>18</sup> 出典 : Conservation International (2012) Conservation Stewards Program Alto Mayo, Peru.

<sup>19</sup> 出典 : SCS Global Services (2012) Validation Report for the Biocorredor Martin Sagrado REDD+. VCS Validation Report.

<sup>20</sup> 出典 : The REDD desk (2011) REDD Project in the Ecotourist Concession "Inkaterra" and the conservation concessions of "Bioconservación Amaru Mayo" and "Inkaterra-Tambopata".

<sup>21</sup> 出典 : Planet-Action Web Site (2013) Yurilimas REDD Project.

### 3.2 日本の支援状況

- 経済産業省の地球温暖化対策技術普及等推進事業（REDD+）で、2010年度に三菱商事が San Martin 州で REDD プラスの実現可能性調査を実施し、ペルーの森林管理の現状の把握、及びペルーにおける REDD プラス等の二国間協定締結に向けた検討を行った<sup>22</sup>。
- 2010年度に、環境プログラム無償「森林保全計画」<sup>23</sup>が実施された。ペルー全土の森林保全・管理を目的として、森林の植生調査、関連基礎情報の収集・分析・管理等の活動に必要な機材等について 900 百万円の資金支援が実施された。

## 4. UNFCCC への関与情報

### 4.1 UNFCCC での取組状況

【表 4-1 UNFCCC での取組状況】<sup>24</sup>

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	批准：1993年6月7日
京都議定書	批准：2002年9月12日
DNA 担当組織	環境省（MINAM）
第1次国別報告書	2001年8月21日提出
第2次国別報告書	2010年9月28日提出

### 4.2 NAMAs における REDD プラスの位置づけ

- ペルーは、NAMAs の取組を実施することにより、一次林もしくは天然林の森林減少をゼロにする方針を示している<sup>25</sup>。ただし、REDD プラスという用語は用いられていない。
- また、森林減少抑制のための具体的な NAMAs 活動は実施されていない。

## 5. UNFCCC へ提出している森林情報

【表 5-1 A/R CDM のための森林定義】<sup>26</sup>

項目	値
森林面積	最小 0.5ha
樹冠率	最低 30%
樹高	最低 5m

【表 5-2 A/R CDM の対象森林】<sup>26</sup>

項目	A/R CDM の対象状況
ゴム林	（記載なし）
竹林	（記載なし）
オイルパーム	（記載なし）

<sup>22</sup> 出典：三菱商事株式会社（2011年）ペルーにおける REDD+調査。

<sup>23</sup> 出典：外務省（2012）国際協力 国別プロジェクト概要 ペルー共和国。

<sup>24</sup> 出典：UNFCCC（2012）Parties & Observer States: Peru。

<sup>25</sup> 出典：UNFCCC（2011）Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention。

<sup>26</sup> 出典：UNFCCC（2012）Designated National Authorities。

## 6. その他の特徴的な地球温暖化対策

- クリーン開発メカニズム（Clean Development Mechanism：CDM）では、新規植林・再植林 CDM プロジェクトが 1 件登録されている<sup>27</sup>。年間平均削減量の見込みは 48,689t-CO<sub>2</sub>/年とされている。2012 年 12 月末現在、クレジットは発行されていない。

### 出典・参考資料

- Amazon Conservation Association (2011) LOS Amigos OFFSET PROGRAM. The REDD desk [http://www.theredddesk.org/sites/default/files/los-amigos-carbon-offset\\_2.pdf](http://www.theredddesk.org/sites/default/files/los-amigos-carbon-offset_2.pdf)
- CIMA with technical assistance from The Field Museum and TerraCarbon (2012) Cordillera Azul National Park REDD Project. VCS Project Description. CCBA [https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/Cordillera\\_Azul\\_National\\_Park\\_REDD\\_project/PNCAZPDDVCS\\_V3September62012.pdf](https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/Cordillera_Azul_National_Park_REDD_project/PNCAZPDDVCS_V3September62012.pdf)
- Conservation International (2012) Conservation Stewards Program Alto Mayo, Peru. CI [http://www.conservation.org/global/csp/Documents/Alto\\_Mayo\\_Peru\\_FS\\_FINAL.pdf](http://www.conservation.org/global/csp/Documents/Alto_Mayo_Peru_FS_FINAL.pdf)
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO <http://countrystat.org/for/en>
- FCPF (2012) DRAFT REDD Readiness Progress Fact Sheet. FCPF [http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/PERU%20FCPF%20REDD%20Readiness%20Progress%20Sheet\\_final.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/PERU%20FCPF%20REDD%20Readiness%20Progress%20Sheet_final.pdf)
- ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011. ITTO [http://www.itto.int/direct/topics/topics\\_pdf\\_download/topics\\_id=2645&no=1&disp=inline](http://www.itto.int/direct/topics/topics_pdf_download/topics_id=2645&no=1&disp=inline)
- 外務省 (2012) 国際協力 国別プロジェクト概要 ペルー共和国. 外務省 [http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/latinamerica/peru/contents\\_01.html#m012201](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/latinamerica/peru/contents_01.html#m012201)
- 三菱商事株式会社 (2011 年) ペルーにおける REDD+調査. 経済産業省 <http://www.meti.go.jp/medi/lib/report/2011fy/E001710.pdf>
- Peru MINAM(2011) REDD +(パンフレット).
- Peru (2010) Second National Communication. UNFCCC <http://unfccc.int/resource/docs/natc/pernc2s.pdf>
- Peru (2011) Proposed Mitigation Actions. UNFCCC [http://unfccc.int/files/meetings/ad\\_hoc\\_working\\_groups/lca/application/pdf/peru\\_ws.pdf](http://unfccc.int/files/meetings/ad_hoc_working_groups/lca/application/pdf/peru_ws.pdf)
- Peru (2011) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Peru. FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Mar2011/Peru%20R-PP-%20Final%20English%20Translation-March7%20version-March16%2C%202011.pdf>
- Planet-Action (2013) Yurilamas REDD Project. Planet-Action <http://www.planet-action.org/web/85-project-detail.php?projectID=6664>
- SCS Global Services (2012) Validation Report for the Biocorredor Martin Sagrado REDD+. VCS Validation Report. CCBA [https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/Biocorridor\\_Martin\\_Sagrado\\_REDD%2B\\_project/PDD\\_REDD\\_Martin\\_Sagrado\\_V3.0\\_-\\_PJ%5B1%5D.pdf](https://s3.amazonaws.com/CCBA/Projects/Biocorridor_Martin_Sagrado_REDD%2B_project/PDD_REDD_Martin_Sagrado_V3.0_-_PJ%5B1%5D.pdf)
- The REDD desk (2011) REDD Project in the Ecotourist Concession "Inkaterra" and the conservation concessions of "Bioconservación Amaru Mayo" and "Inkaterra-Tambopata". The REDD desk <http://www.theredddesk.org/fr/node/8144>
- UN data <http://data.un.org/Default.aspx>
- UNFCCC (2011) Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention (FCCC/AWGLCA/2011/INF.1). UNFCCC <http://unfccc.int/resource/docs/2011/awglca14/eng/inf01.pdf>
- UNFCCC (2012) Designated National Authorities. UNFCCC <http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- UNFCCC (2012) Parties & Observer States: Peru. UNFCCC <http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=PE>
- UNFCCC (2012) Project 2715 : Reforestation, sustainable production and carbon sequestration project in José Ignacio Távara's dry forest, Piura, Peru. UNFCCC <https://cdm.unfccc.int/Projects/DB/TUEV-SUED1245856381.67/view>

<sup>27</sup> 出典：UNFCCC (2012) Project 2715 : Reforestation, sustainable production and carbon sequestration project in José Ignacio Távara's dry forest, Piura, Peru.

本レポートは、2012年12月31日までに公表された情報に基づく。